

確定日（令和03 年 06 月 25 日）

事業コード	05030125		政策コード	05	政策名	誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略							
事業名	衛生看護学院オンライン実習環境整備事業		施策コード	03	施策名	医療ニーズに対応した医療提供体制の整備							
			指標コード	01	施策目標(指標)名	地域医療を支える人材の育成・確保							
部局名	健康福祉部	課室名	医務薬事課医療人材対策室		班名	医療人材対策班		(tel)	1410	担当課長名	石川由美子	担当者名	進藤勝俊
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和03年度～令和03年度		
1.事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 県内における新型コロナウイルスの感染拡大により、実習先の病院では濃厚接触者や県外に行った学生に対し実習の受け入れを中止している。そのため、衛生看護学院では、コロナ禍において実習中止等による修学の差が生じないように学習機会の確保が求められている。					3.事業目的(どういう状態にしたいのか) 実習受け入れ中止となった学生に対し、病院での実習に代わる演習や学内実習等を行える環境を衛生看護学院内に整備する。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望								
					4.目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 衛生看護学院 達成のための手段 病院での実習に代わる遠隔授業等を学内で実施できるよう実習室に無線LANを設置し、遠隔授業の実施に必要な実習用モデル等備品を整備する。								
2.住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R03 年 03 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 今後就職試験等で県外へ滞在し、病院での実習受け入れ中止となった場合、学習機会を確保してもらいたいとの要望が学生からあり、対応が求められている。					比較した代替手段及び選択した手段の有効性 実習先病院での実習受け入れが中止となった学生の学習機会を確保するため、衛生看護学院内において、実習が行える環境を整備するものであり、有効な手段である。								
把握してない場合の理由及び今後の方針													
理由													
今後の方針													
5.事業の全体計画及び財源													
												単位(千円)	
順位	事業内記		左の説明			03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画	
01	衛生看護学院オンライン実習環境整備事業		実習受け入れ中止となった学生に対し、病院での実習に代わる演習や学内実習等を行える環境を学院内に整備する。			12,836	0	0	0	0	0	12,836	
財源内訳		左の説明			12,836	0	0	0	0	0	0	12,836	
国庫補助金		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			12,836	0	0	0	0	0	0	12,836	
県債					0	0	0	0	0	0	0	0	
その他					0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源					0	0	0	0	0	0	0	0	

